（5）政治の民主的転換をめざす取り組み

①一致する要求での共同を広範に追求しつつ、労働者の生活と権利擁護、社会保障の拡充をめざす政治の実現、構造改革路線からの転換をめざす政治闘争の強化をはかる。

賃下げからの転換、雇用破壊からの転換、社会保障改悪からの転換、戦争する国づくりからの転換の**「四つの転換」**を掲げ、新保守主義、構造改革、緊縮財政路線からの転換、雇用・社会保障の充実によるデフレ経済からの脱却をめざす。

そのために、**政党支持自由**を掲げると同時に、**政党選択の基準、政党の政策・実績を明らかにし、組合員の政治的関心を高める。**

職場運動、地域運動を活発に繰り広げ、政治の民主的転換の必要性を組合員の中で共有し、運動の前進をはかる。

国民大運動の県政政策・要求作りを基に、県政要求実現の運動を通年的に取り組む。また、地域闘争を強化し、他団体と共同し地域政策をまとめ自治体交渉を積み重ね、自治体の政治を変える取組みをすすめる。

②参議院選挙は2016年7月、2016年12月には衆議院議員の任期満了となる。

2014 年 11 月には沖縄県知事選挙が、2015 年4月に統一地方選挙。2015 年 11 月高知市長選挙となっている。

特定秘密保護法の強行採決や集団的自衛権の閣議決定などによって、安倍内閣の支持率が急降下していることから、解散総選挙の可能性は否定できない。**まずは沖縄知事選挙で基地推進派に勝利し、2015 年 4 月の統一地方選挙で安倍内閣を追い詰め、「打倒安倍内閣」を果たす。**

衆議院比例定数削減など選挙制度の改悪に反対し、小選挙区制の見直しの運動を進める。

また、**高知市長選挙**では統一候補の擁立を進め、高知市政の民主的転換をめざす。

四万十市長選挙での教訓を生かし、可能な**自治体首長選挙での共同候補の擁立、地域経済を守り住民自治を前進させる取り組みを進める。**